

## 愛媛県西条市におけるカダヤシの追加記録

稲葉正和<sup>1</sup>・山家美穂<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 愛媛県総合教育センター

<sup>2</sup> 愛媛県立松山中央高等学校



写真1 *Gambusia affinis* カダヤシ♀ (EPERC-P 011, 31.0mm SL)

### 種の記録

Poeciliidae カダヤシ科

*Gambusia affinis* (Baird and Girard, 1853)

カダヤシ(写真1)

標本 愛媛県総合教育センター標本 (EPERC-P) 011, 12 個体, ♂7 個体, 標準体長 (SL) 16.5mm—24.0mm, ♀5 個体, 31.0mm—36.0mm SL, 愛媛県西条市港の用水路 (33.924N, 133.158E). (EPERC-P) 012, 10 個体, ♂5 個体, 17.5mm—19.0mm SL, ♀5 個体, 24.0mm—24.8mm SL, 愛媛県西条市禎瑞の用水路 (33.922N, 133.136E). 採集年月日: 2025 年 8 月 2 日. 採集方法: タモ網.

### 種の特徴

得られた個体の背鰭軟条数は 7, 尾鰭下葉は伸長しないこと, オスの腹鰭軟条は肥厚せず伸長しないこと, メスの背鰭起部は臀鰭基底の中央より後方にあることなどの特徴が瀬能 (2013) のカダヤシと一致した.

### 備考

本種は 1970 年代に蚊の駆除を目的として旧西条市内に導入されており, 2004 年には加茂川下流域右岸側周辺の用水路で 1 尾が確認されているが (清水ほか, 2006), 近年の生息および繁殖実態については明らかでない. 今回, 清水ほか (2006) の確認地点に近接する西条市港の用水路で本種成魚 12 尾が得られ, 新たに加茂川を挟んだ対岸の西条市禎瑞でも成魚 10 尾が得られた. 両地点で得られた全てのメス成

魚の腹部は膨れており, 妊娠を示す濃青色の斑紋が見られた. 両地点で得られた各 1 個体のメスの腹部を切開したところ, 体内に複数の胎仔が確認されたことから, 本種は両水域内で再生産を繰り返しているものと考えられる. なお, 今回確認された個体が過去の導入群の生き残りであるか, 新たに移入されたものであるかは不明である. 西条市内における本種の現在の分布状況は明らかでないが, 本種は海水域を分布拡大に利用できる可能性が指摘されており (伊藤, 2006), 沿岸伝いに周辺地域へ分散している可能性もあることから, 今後も継続的に近隣地域の調査を行う必要がある.

### 引用文献

伊藤寿茂. 2006. カダヤシの塩分の上昇に対する馴致. 陸水学雑誌, 67(3): 219–222.

瀬能 宏. 2013. カダヤシ目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 646–648, 1922–1923.

清水孝昭・高橋弘明・渋谷雅紀. 2006. 愛媛県西条市の淡水魚類. 徳島県立博物館研究報告, (16): 65–114.

(2025 年 8 月 6 日受付, 2025 年 8 月 11 日公開)

連絡先: 稲葉正和 (e-mail: inaba.masakazu111@gmail.com) (Masakazu Inaba and Miho Yambe. 2025. Additional records of *Gambusia affinis* (Poeciliidae) in Saijo City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25016)